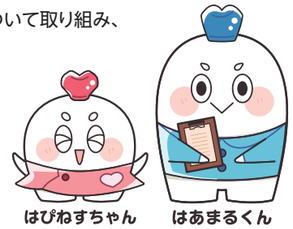
「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」

実 施 要 項

事業のテーマと内容

事業テーマ：望ましい生活習慣の形成を目指す歯・口の健康づくりと歯・口の外傷の防止
学校の実態や子供の発達段階等に応じて、2年間にわたり、次の３つの具体的な内容について取り組み、「生きる力を育む」につなげる。
①むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践
②学校生活における歯・口の外傷の防止と安全な環境づくり
③食べる機能や食べ方の発達支援を通じての実践的な歯・口の健康づくり



事業の進め方

(1) 子供の歯・口の健康づくり及び歯･口の外傷防止に関する実態を把握して問題点を整理する。
(2) 事業テーマに関する計画を作成し、学校、家庭及び地域の関係機関等との密接な連携を図りながら実践する。
(3) 実践後の結果を考察し、評価する。もし課題が残れば、それを示す。

事業実施期間

事業開始年4月1日より翌々年3月31日までとする。

推進学校及び推進地域の選定

都道府県・政令指定都市教育委員会と日本学校歯科医会加盟団体の協議により推薦された学校及び地域より日本学校歯科医会が選定する。

その他

- 委嘱を受けた推進学校もしくは推進地域は、2年間の委嘱期間のうち、少なくとも1回以上は、当該事業に関する研究発表会等を開催し、当該推進学校や地域へ『「生きる力」を育む歯・口の健康づくり』の普及啓発に努めること。
- 日本学校歯科医会は、事業テーマのさらなる推進ならびに子供の歯・口の健康に関する実態と問題点の整理を目的とした実態調査を、推進学校もしくは推進地域の中核校に対して年度1回（事業期間中2回）実施するので、この調査に協力すること。なお、日本学校歯科医会は、当調査の結果を選定団体、推進学校もしくは推進地域の中核校に報告するとともに、本会の会誌、広報誌、ホームページにも調査結果を掲載する。
- 日本学校歯科医会は、事業実施中に提出する推進学校もしくは推進地域の取り組みを紹介する「推進校なう」並びに実施終了時に提出する2年間の取り組みをまとめた「事業報告書」を、本会の会誌、広報誌、ホームページなどに掲載する場合がある。
- 日本学校歯科医会は、本事業の適切な実施と円滑な推進を図るため、当事業実施に当たっての説明を兼ねて、原則として事業初年度に連絡協議会を開催する。連絡協議会には推進学校もしくは推進地域の学校関係者、学校歯科医のほか、選定団体の担当者も出席すること。

健康は直接目に見えず、健康なときは自覚がほとんど無いため、子供にとって分かりにくく、学習しにくいものです。一方、歯や口は子供自身で直接見て、触れることの出来る優れた学習材です。子供が優れた学習材である歯・口から健康の大切さに気付き、歯みがきや食習慣などの生活行動を主体的に改善し、自律的な健康づくりが出来るような取り組みが本事業を通して全国の学校・地域で展開して頂ける事を願っています。

公益社団法人日本学校歯科医会
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館4F
TEL：03-3263-9330　FAX：03-3263-9634

公益社団法人
日本学校歯科医会
ホームページ

生きる力を育む
歯･口の健康づくり
推進事業

文部科学省後援

生きる力を育む歯･口の健康づくり推進事業（令和3･4年度）

子供の歯・口から生活が見える！

子供の歯や口を観察するとむし歯以外にも咀嚼など口腔機能の未発達や歯肉炎の増加、歯・口のけがの発生などの新たな課題がみつかり、さらにいじめや虐待など子供の生活を取り巻く課題なども見えてくることがあります。食生活や生活習慣の適切な形成は疾病の予防にとどまらない生涯にわたる健康の基礎を培うものです。

この事業は子供の生活習慣を改善し、「生きる力」を育む事を目指しています。

公益社団法人 日本学校歯科医会

「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」は、昭和53年から文部省（現文部科学省）で実施してきた「むし歯予防推進指定校」などの取り組みを発展させたもので、全国の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校およびそれらを含む地域を対象に、平成19年度から日本学校歯科医会が実施している助成事業です。都道府県・政令指定都市教育委員会より推薦のあった学校ならびに地域へ2年間の調査研究を委嘱し、望ましい生活習慣の形成を目指して子供の意識や行動の変容を図るために、それぞれの学校・地域において実態調査を含むさまざまな取り組みを行っていただきます。

学校における歯・口の健康づくりは、子供が自分の歯や口の健康状態に関心を持ち、健康上の問題について自ら考え、歯みがきや食生活などの生活習慣を主体的に改善できる資質や能力など「生きる力」を身につけ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送る基礎を培うことをねらいとしています。

準備 Preparation
（実態等の把握、課題焦点化）

- 歯みがき、おやつや間食、生活リズムなど基本的な生活習慣の実態調査
- 歯・口の健康の状態（健康診断結果）・これまでの取組の経過や課題
- 家庭や地域の歯・口の健康への関心や支援の状況等の実態把握と課題の整理・焦点化

計画 Plan
（目標や重点の設定、計画の作成）

- 重点の設定、学校保健・学校安全計画、歯・口の健康指導計画等の作成
- それらを受けた（包含した）研究結果の作成

実施 Do
（校務分掌、組織体制の整備）

- 具体的な校務分掌の明確化
- 研究や取組のための機能的な組織体制の整備
- 具体的な取組の実施

評価 Check
（組織的な評価と情報の共有）

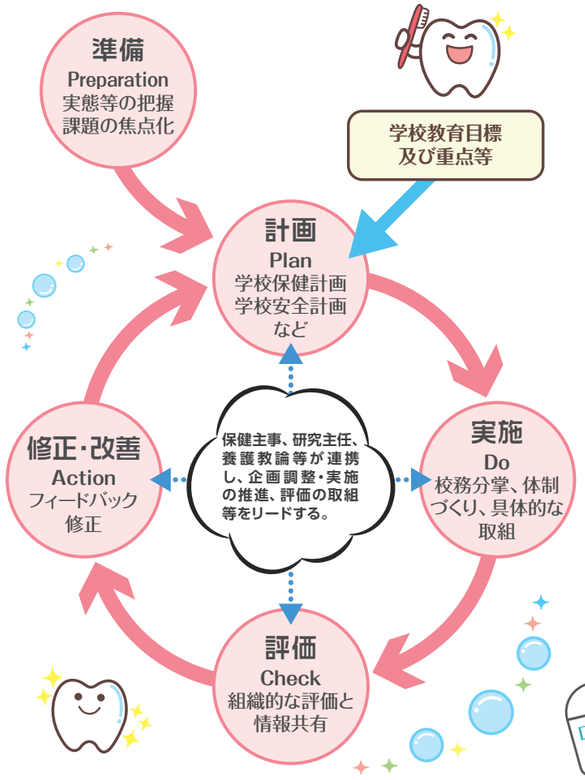
- 指導や研究体制　●指導の経過や方法 等
- 成果や課題　●学習環境 等
- 教職員の評価　●保護者などの関係者の評価 等

修正改善 Action
（フィードバック、修正）

- 評価の結果を元に、学校保健・学校安全計画や具体的な実施計画等の修正・改善

学校保健活動とマネージメント

歯・口の健康づくりの取組や研究を円滑かつ効果的に進めるためには、保健主事、関係職員や地域の関係者、養護教諭と密接に連携しながらPDCAサイクルを活用し、常に見直し、改善していくことが大切です。



学校評価ガイドライン（改訂版）文部科学省H28. 一部改変

この事業を通して学校、家庭、地域そして学校歯科医が連携した様々な取り組みにより、成果があげられています。

学校歯科医・歯科衛生士との連携

健康診断、健康相談、保健指導に加え、チーム・ティーチングや外部講師を活用した授業や講演会などの専門的なサポートが行われています。

児童会・生徒会の歯科保健活動

歯や口を題材とした劇や、歌づくり、標語づくり、安全な行動に関するポスターづくりなど、独創的な取り組みが生み出されています。

フッ化物洗口

むし歯予防効果は勿論ですが、歯や口の健康づくりの習慣や態度を身に付けます。

全国小学生歯みがき大会への参加

この大会は小学生を対象として「歯と口の健康週間」に合わせて開催され、歯と口を通して健康意識を育む事を目指しています。

家庭との連携

出典：（公財）ライオン歯科衛生研究所

子供の健康づくりには保護者の理解が必要です。
歯みがきカレンダーや健康ノートの共有、PTAと児童・生徒によるレシピの開発、歯・口の健康づくりに関する授業での保護者の参観や参加などの連携を進めて行きます。

食育指導

栄養教諭などが中心となり、教科、特別活動、総合的な学習（探求）の時間、給食などを活用し、食の大切さや意義の理解を深めます。

地域学校保健委員会の実施

幼、小、中など校種を超えた学校間や地域と学校などが連携し、学校保健委員会を開催する事で、開かれた学校づくりが推進されます。

地域との連携

学校の枠を超えて地域社会と共通認識を深め、学校、家庭、地域で歯や口を通して健康意識を高めて行きます。